

県央・相模原地域
単位制普通科
（城山高校・相模原総合高校）
設置計画

令和4年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 城山高等学校 相模原総合高等学校
- (2) 位置 城山高等学校敷地（相模原市緑区城山1-26-1）
- (3) 実施年度 令和5年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、単位制普通科高校に改編し、柔軟な教育システムによる多彩な学びを展開する。
- 城山高校におけるICT利活用授業研究推進校としての成果と、相模原総合高校におけるプログラミング教育研究推進校としての成果を踏まえ、両校が進めてきた研究成果を共有することで、高度な情報教育を強みとした教育活動を展開する。
- これまで培ってきた両校の情報教育の成果を、近隣の学校に発信するなどして、新たな高校間連携を模索するとともに、地域との協働の充実を図る。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開
単位制普通科として、共通教科・科目を中心とした教育課程を編成し、基礎的な知識・技能の習得を基盤とし、興味・関心や進路に応じて学ぶことができる幅広い選択科目を設置することにより、生徒一人ひとりの資質・能力の向上を図る。
- 地域の教育資源を活用した教育の推進
これまで両校が取り組んできた地域との連携をさらに発展させ、体験的な学びを通して、広い視野を持ち将来の夢を見つけ、それを実現できる人材を育成する。
- キャリア教育の充実
多岐にわたる進路に対応した教育課程を編成し、生徒一人ひとりの進路実現に向けた確かな学力を育成する。

- 情報教育を一層重視した教育活動の展開
 これまで両校が取り組んできた情報教育を発展させ、これからの時代に求められる高い情報活用能力を育成する。
- 他者と協働する力の育成に向けた教育の推進
 協働的な学びの機会を多く設定するとともに、部活動やボランティア活動をとおして主体性と協調性を育み、併せて生徒指導・生徒支援の充実を図ることにより、社会に貢献できる人材を育成する。

4 設置形態

- (1) 課程 単位制による全日制の課程
- (2) 学科 普通科
- (3) 学校規模 840名程度（各学年280名程度 7学級規模程度）
 ※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学期 2学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

<日課表> (予定)

	6校時時程 (週5日)
ショートホームルーム	8:40 ~ 8:50
1校時	8:50 ~ 9:40
2校時	9:50 ~ 10:40
3校時	10:50 ~ 11:40
4校時	11:50 ~ 12:40
昼休み	12:40 ~ 13:25
5校時	13:25 ~ 14:15
6校時	14:25 ~ 15:15
ショートホームルーム	15:15 ~ 15:20

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本の方針

- 在籍3年以上で、必履修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 生徒に高度な普通教育を施し、一般的な教養を高めるとともに、発展的な学力の向上を図るため、共通教科を中心に選択科目を系統的に編成した科目構成とする。

(2) 教育展開の方針

- 基礎的な科目から発展的な科目まで幅広く設置し、系統的な学習の展開を図る。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望などに応じて、科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。
- 地域の特性を生かし、県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。
- ボランティア活動やインターンシップ等の学校外活動を積極的に推進する。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点を生かしつつ、年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による運用に取り組む。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に対応するため、これまで両校が取り組んできた成果を生かした基礎的な科目から発展的な科目まで、幅広く設置する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 年次	現代の 国語 ②	言語 文化 ②	地理 総合 ②	歴史 総合 ②	数学 I ③	数学 A ②	化学 基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽 I ／ 美術 I ／ 書道 I ②	英語 コミュニ ケーション I ③	家庭 総合 ②	情報 I ②	総合的な探究の時間①		L H R ①														
2 年次	論理 国語 ②	公共 ②	生物 基礎 ②	物理 基礎 ／ 地学 基礎 ②	体育 ③	保健 ①	英語 コミュニ ケーション II ④	家庭 総合 ②	必修選択 ⑧		自由 選択 ①～②	総合的な探究の時間①		L H R ①																
3 年次	文学 国語 ②	政治・ 経済 ②	体育 ②	英語 コミュニ ケーション III ④	必修選択 ⑬～⑭		自由 選択 ①～④	総合的な探究の時間①		L H R ①																				

教育課程表は予定であり、変更することがある。(○囲いの数字は単位数)
アンダーラインは学校設定科目、*は夏季集中講座を示す。

◇2年次必修選択 (8単位)

古典探究②、歴史総合②、数学 I ②、数学 II ④、数学 B ②、音楽 II ②
美術 II ②、書道 II ②、英語コミュニケーション I ②、論理・表現 I ②
情報 II ②、[家]保育基礎②

◇2年次自由選択 (0～2単位)

国語表現②、多文化フィールドワーク(地・公)①*、数学 A ②
ロボットプログラムの基礎(情)①*、地域研究(地域研究)②

◇3年次必修選択 (13～14単位)

論理国語②、古典探究②、地理探究③、日本史探究③、世界史探究③、
数学 II ④、数学 III ④、数学 B ②、数学 C ②、科学と人間生活③、物理⑥
化学⑥、生物⑥、科学実験(理)②、工芸 I ②、英語コミュニケーション II ④
英語コミュニケーション II ②、論理・表現 I ②、韓国語(外)②、中国語(外)②
幼児教育研究(家)⑥、プログラミング発展(情)②、[商]ビジネス基礎②
[家]服飾手芸②、[家]フードデザイン②、[福]社会福祉基礎②
[体]スポーツ総合演習④、[音]器楽②

◇3年次自由選択（0～4単位）

国語表現②、多文化フィールドワーク(地・公)①*、数学A②、物理④

化学④、生物④、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②

英語コミュニケーションⅡ②、ロボットプログラムの基礎(情)①*

[情]コンテンツの制作と発信②、地域研究(地域研究)②

<特色ある選択科目>

コンテンツの制作と発信 2単位

コンピュータを用いた本格的な画像処理に特化して、その知識・技術を習得することで、Webなどのオンライン上での表現や、印刷物などの紙媒体での表現力を高めるとともに、テーマに沿ったCG作品を制作することで、企画力・思考力を養う。また、動画制作をとおして、専門的な映像制作や編集技術を習得するだけでなく、動画の企画から発表にいたる各過程をグループで協力して行うことで、社会生活に必要な協調性・調整力・表現力などを養う。

社会福祉基礎 2単位

福祉の考え方を理解し、手話等の体験的な学習活動を行うとともに社会福祉の向上に必要な知識を深め、社会への貢献意識を育む。

多文化フィールドワーク 1単位 夏季集中講座

外国の様々な文化について調べ、フィールドワークで実際に触れることで、身近な地域にある文化の多様性を体験的に理解する。様々な文化を理解することで、自我を意識し自らの生き方を考えるきっかけとし、グローバル化する社会に関する見識を深める。

科学実験 2単位

テーマに沿った実験をとおして科目横断的に生活に関わる実践的な学習を行う。生きるために必要な知識だけでなく、地域環境と関連させた学習を行うことで、社会とのつながりを踏まえた科学的な興味・関心の向上を図る。

韓国語、**中国語** 2単位

近隣諸国の言語や文化を学習し理解を深めることで、社会生活に必要な他者理解の意識と能力を高めるとともに、コミュニケーション能力を育む。

ロボットプログラムの基礎 1単位 夏季集中講座

プログラミングの視点でものづくりや工学学習の魅力を見出し、設計制作に必要な知識や技術を習得することで、実際の課題を解決する態度と能力を育む。

プログラミング発展 2単位

プログラミングをとおして情報及び情報技術を活用するための知識と技術を習得することで、プログラミング的思考や科学的な考え方を養うとともに、社会の情報化の進展に主体的に関わる態度と能力を育成する。

地域研究 2単位

学校をとりまく豊かな自然環境に関する学習や、社会活動に取り組む施設や個人と連携して行う地域の資源を活用した実践的な学習により、職業的な知識や技術の習得、及び興味・関心の向上を図り、地域社会へ参画する態度を養う。

(5) 学習指導の工夫

- 知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習や、そのための指導方法等の充実を図る。
- 自らの学習目的や進路希望に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- ICTを活用した学習活動により生徒一人ひとりの理解を深めるとともに、情報教育の充実による情報活用能力の伸長を図り、併せて発展的な情報教育等の展開を通して論理的思考力の定着に取り組む。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を相互に尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざすための指導及び支援を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、多様な教育的ニーズに対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 生徒と教師との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。

- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や、進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど、支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価を生かすなどして、自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。

7 施設・設備の整備

- 単位制による全日制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 単位制による全日制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 〒231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256